

# 名古屋港の機能を強化

## 高潮防波堤の改良工事を視察

知 県 議 団  
愛 知 県 議 団

南海トラフ巨大地震などの災害発生時における港の防災機能の強化を推進している公明党愛知県議団(木藤俊郎団長)はこのほど、高潮防波堤の改良工事が進められている名古屋港(名古屋市)の現場を視察し、工事の進捗状況や課題について調査した。

一行はまず、名古屋港管

理組合を訪れ、今回の工事の概要について事業関係者から説明を受けた。それによると、同港の高潮防波堤は経年劣化が著しく進み、大規模地震が発生した場合、沈下などによって十分な機能が果たせないと指摘されていた。そこで今回、かさ上げなどの工事が施され、大規模地震による高潮



名古屋港で高潮防波堤を視察する党愛知県議団(右から6人)

や津波に対して効果が発揮できる構造に改良する。工事は2013年度から進められており、今年度中に完成予定。

この後、一行は関係者との意見交換の中で、災害発生時に早期復旧をめざす事業継続計画

(BCP)に触れ、特にライフラインとなる燃料供給の方法などについて質問し、万全な対応策を求めた。引き続き一行は、船に乗り込み、名古屋港の防波堤付近を洋上から見て回った。視察後、木藤団長らは、民間企業と協力した港づくりなど防災対策の強化についてさらに進めていくことを確認し合った。